

議事概要記録

開催日時	令和7年12月24日(水) 18:00~20:30	開催場所	Zoom Web 開催
会議種別	令和7年度 第3回常務理事会	議長	久保 光史
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	田中 規仁、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、大前 嘉良、久保 光史 6名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次第			
議事概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和8年度事業計画案・予算案について 2. 定款・規範・倫理規程作成について 3. 次期和歌山学会の開催について 4. 勉強会電子決済運用について 5. 理事会等スケジュールについて 6. その他 		
決議事項 及び 継続事項	<p>1. 令和8年度事業計画案・予算案について (丸澤経理部長)</p> <p>各担当理事より提出された予算書および事業計画案について審議を行った。昨今の物価高騰等の影響を踏まえると、予算額が当初計画を上回る可能性があることが確認された。</p> <p>これを受け、過去の開催実績ならびに繰越金の支出状況を考慮し、適切な予算配分を行う方針とした。</p> <p>また、今後の事業運営において繰越金からの支出が増加した場合には、新たな財源の確保が必要となることが確認された。</p> <p>対応策として、会費改定や、現在無償として実施している精度管理事業の有償化について検討することは必要な措置であるとの認識で一致した。</p> <p>これらの事項については、会員に対し適切な周知を行うとともに、覚書として次回総会に提出する決算書に記載することを確認した。</p> <p>●経費申請書について</p> <p>交通費及び行動費等の請求に係る書類として以下の様式が決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費等支払い申請書(個人別) ・和臨技 交通費等明細及び領収書(開催事業別) <p>改めて、次回班長班員会議でも周知説明を行うことを確認した。</p> <p>2. 定款・規範・倫理規程作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款における問題点 <p>現状の定款において、理事・監事選任に議案の決議は「各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない」と記載されており、現状総会承認は一括で行われている。定款との整合性を図る上でも、対応が必要ある旨が確認された。</p>		

候補者ごとの決議を行うにあたり、議決権行使書見直しの必要性についても確認された。

→現状の官製はがきから往復はがきや定形外のサイズへ移行しないと全候補者決議は記載できない事が確認された為、議決権行使書の様式見直しも含め検討を開始することで一致した。

・規範、倫理規程作成

各案の内容について確認が行われた。

追加変更事項もないため、次回の理事会での審議事項とすることで一致した。

3. 次期和歌山学会開催について

学会開催記録を基に開催担当地区が確認された。

(次回第 45 回開催担当は市内地区)

日程は令和 9 年 2 月 28 日 (日)、会場は和歌山城ホール 4 階大会議室を予定することで一致した。

4. 勉強会電子決済運用について

本年度合同研修会において Peatix を用いた試験運用を実施した。

Peatix の手数料はチケットに対して 4.9%+99 円。

運用自体に大きな問題はなかったが、この方法を各学術部門に導入した場合の入金口座、入金確認等が煩雑になることが予測されることを確認した。運用も含め、班長班員会議にて説明の上、検討を重ねることで一致した。

5. 理事会等スケジュール

今後のスケジュールについて確認を行った。

理事会について Web 開催を併用することで一致した。

特に総会前や予算審議などではない理事会については Web 開催で良い判断となった。

6. その他

記録作成	令和 8 年 1 月 19 日	氏名	久保 光史	提出	令和 8 年 1 月 19 日
------	-----------------	----	-------	----	-----------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可